

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第303号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2011年10月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・黒坂道生

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

学園オリンピック(文化部門)入賞者7名

東海大学適性審査による合格者13名



適性検査による特別奨励内定者の皆さん
後列左から中村君、大関君、矢川君、赤羽君
前列左から土田さん、山崎さん、中原さん



学園オリンピック夏季セミナー受賞者の皆さん
左から茂木さん、長瀬君、小山君、大関君、木内君



学園オリンピック国語部門(吟行)



学園オリンピック芸術造形部門(デッサン)

栄光を目指して

2011年度 東海大学学園オリンピック

文化部門

部門別 受賞者

国語部門 (第17回)	佳作	茂木 彩乃	3年 6組	芸術【音楽】部門 (第20回)	銀賞	遠藤 美稀	2年 1組
理科部門 (第18回)	優秀賞	長瀬慶太郎	2年 10組		銅賞	小宮 瑠莉	3年 6組
芸術【造形】部門 (第20回)	優秀賞	小山 拓哉	2年 4組	ディベート部門 (第6回)	優秀賞	大関 翔輝	3年 3組
					奨励賞	木内 一希	2年 8組

優秀賞を受賞した皆さんの喜びの声を紹介します。

最後の孀恋

大関 翔輝

3年3組 北区立十条富士見中学校出身

今回が私にとって最後の学園オリンピック参加であると共に、3年間ディベート部門で学んだことの集大成を発揮する最後の機会でもありました。

今回、私たちは「日本は道州制を導入すべきである。是か非か」という非常に難しい論題で議論しました。しかし、チームの仲間と話し合い、作戦を組むことで試合でも真剣勝負をすることができ、結果私たちのチームは準優勝することができました。

あの6日間を振り返ってみるとたくさんの仲間、大学の先生方と交流することができ、毎日が非常に充実していました。3年間で私はさまざまなことを学び、たくさんの貴重な経験ができました。そして、私にとって最後の学園オリンピックで念願の優秀賞を獲得することもできました。この学園オリンピックでの素晴らしい経験は私にとって一生の宝物になるでしょう。

理科の楽しさを学ぶ

長瀬 慶太郎

2年10組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

このたびは、優秀賞をいただけて、とても嬉しく思います。私は理科部門に参加して身の回りの科学について学びました。今回の活動の中でカエルの発生の観察が印象に残りました。命がどう生まれてくるのか、また体がどう作られていくのかを学べました。興味深い実験などを通して、理科について学んできました。高校2年生の私にとっては来年度が最後の学園オリンピックになってしまいますが、また来年も精いっぱい挑戦したいと思います。

夢のような時間

小山 拓哉

2年4組 横浜市立日吉台西中学校出身

初めて学園オリンピックに参加することができました。造形部門では、1つ1つの課題が面白く、夢のような時間を過ごすことができました。たくさんの自然に触れ合ったり、お互いに刺激し合ったりすることができました。学園オリンピックを通して、自分の作品への思いや仲間との出会いが自分を大きく変えていくということを学びました。来年度もチャレンジしたいと思います。

2011年度 東海大学学園オリンピック

スポーツ大会

種目	順位	氏名
卓球	女子団体戦	3位
	男子団体戦	3位
	男子個人戦	3位 2年 澤智己
	男子個人戦	3位 3年 小林篤鋭
柔道	女子個人戦	優勝 2年 中川由貴
	女子個人戦	優勝 1年 豊崎倫代
	女子個人戦	2位 1年 長瀬広子
	男子個人戦(81kg級)	3位 2年 荒井遼也
	男子個人戦(90kg級)	3位 1年 土淵優人
	男子個人戦(100kg超級)	2位 2年 川口歩
	男子個人戦(100kg超級)	3位 1年 山下真司
バドミントン	男子団体戦	2位
ソフトテニス	女子個人戦	優勝 3年 山形菜摘・3年 小口夏海 ペア
	女子個人戦	3位 2年 西真澄・2年 蓮見那桜 ペア
	女子団体戦	2位
	男子団体戦	3位



中高生のための体験学習と交流会開催

8月6日から2泊3日で「中高生のための体験学習と交流会」が東海大学湘南校舎で行われました。学園の付属中高生を対象に行われ、本校から中等部2・3年、高校1年の18名が参加しました。大学の研究室や施設見学、実験や発表を通して理工系の楽しさに触れてきました。また、交流会では大学生や大学院生と懇談し、大学生生活のイメージが変わったり進路を考える参考になったようです。

あっという間の3日間

有田 達也

1年9組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

「中高生のための体験授業と交流会」はとても有意義な時間となりました。

体験授業Ⅱで僕は「紫キャベツの色素を抽出し、pHを測定する」という実験を行いました。大学の先生は常にわかりやすく説明してくださいました。大学生の先輩方も丁寧に操作を教えてくださいました。その後、体験授業で学んだことを全員へ発表するというのもしました。僕は全員の前で話すことはありませんでしたが、ひとつのものを作ることの難しさ、発表の難しさを学びました。ほかにも、高度物性評価室等の見学も行いました。電子顕微鏡の操作を直に体験することもできました。

この2泊3日で最も印象に残ったことはさまざまな人と話することができたことです。大学の先生からは研究の思いを聞けました。先輩からは志望理由、大学生活という話が聞けました。大学についてのイメージが持てたことは大きな収穫です。他校の先生、他校の生徒とも話することができたことも嬉しかったです。

もしこのような機会があればもう一度参加したいです。後輩の皆さんは来年参加してみてもいいでしょうか。

《スケジュール》

1日目 ●8月6日(土) 集合 14:00
開会式・学園オリンピック・
スポーツ大会開会式参加(参観)・施設見学Ⅰ
体験授業Ⅰ「シュボシュボ実験」



2日目 ●8月7日(日)
■体験授業Ⅱ

テーマ「未来の科学者体験」

- | | |
|--|--|
| <p>物理 ●身近な放射線
私たちの身の回りに存在する放射線を、測ったり、目で見たりしてみよう!</p> <p>●光通信の仕組み
光を使って声や映像を伝える仕組みを、電子回路を組み立てながら勉強しよう!</p> | <p>化学 ●色いろ ～大へんしん～
植物から取り出した色が、私たちの身の回りに役に立っていることを知ろう!</p> <p>●科学捜査体験 ～犯人を捜せ～
指紋の検出や、血痕の検出をやってみよう!</p> <p>●七色の世界 ～炎色反応～
燃やすものによって炎の色が変わる現象を利用して、物質の中の原子を調べてみよう!</p> |
|--|--|

■体験授業Ⅲ「学科最先端の研究体験」



■理工系の大学生との交流会・グループ発表

3日目 ●8月8日(月)
施設見学 17号館 高度物性評価施設見学
15号館 スポーツ医科学科学研究所
「高地トレーニング室」

閉会



2011年度学校運営方針

中等部・高校・大学10年間の一貫教育の充実 中等部TTによる授業の開発、シラバスのCD化に伴う 内容の大幅な見直しによる積極的な活用を促す

本校の教職員が中等部と高等学校の6年間の教育に対して共通の認識を持ち、中・高の所属にかかわらず全職員一丸となって指導に当たります。

中等部TTによる授業の開発のために、教務部、研究部、各教科会が連携を取りながら大規模な授業改革を推進します。

中等部から、高校3年までの英語教育を推進するため、高校1、2年生でのカナダ短期留学を立ち上げ(ただし今年度は参加者が規定人数に満たなかったため中止)、高校3年生でカナダ中期留学を実施します(今年度は7名参加)。

シラバスを効率的に利用し最大限の効果が上げられるように努力します。さらに、シラバスのCD化に伴う内容の大幅な見直しを更に進めます。

大学との連携を密にして、大学の先生方による学校説明、学部・学科説明、特別講座(高校3学年)の充実、大学入学前教育の充実を図り、高大の一貫教育の充実を図ります。昨年度から学園オリンピック・スポーツ部門期間においても学部・学科紹介が実施され、高校1年生から3年生の多くの運動部員が将来の進路に関して大学の先生方の説明を受けました。

各行事の確立と、見直しを行う

中等部最大の行事であるニュージーランド海外英語研修旅行、高校研修旅行、中等部体育祭、中等部高校合同体育祭、建学祭、剛健旅行等各行事を再点検し、見直しを行います。

安全指導の徹底

全教職員が、職員会議や研修を通して共通理解を持ち、日頃の授業、行事、部活動等における安全指導を更に徹底します。また、東日本大震災の経験を活かし、災害時に備えた体制の再確認を行います。

サイエンス・マイスターに2名内定

3年9組	澁谷 朋子	工学部生命化学科	進学予定
3年9組	篠田 友作	工学部材料科学科	進学予定

2011年度より、東海大学では社会の多様な場で活躍する「サイエンス・マイスター育成プログラム」(平成22年度文部科学省公募事業で採択)をスタートしています。このプログラムは、学部枠を超えた副専攻制度として理工系学生を対象に入学直後からスタートして、高度分析装置などを利用しながらそれらの測定原理と分析技術を学び、科学技術への興味関心を伸ばし、企画力・分析

力・点検・改善力、さらには科学英語やプレゼンテーション等の表現力を培い、就職や大学院進学へつなげるものです。

大学より2012年度付属推薦内定者に、このプログラムへの参加募集がありました。各付属高校から総勢50名を超える生徒のエントリーがあり、本校からは2名の生徒が内定されました。

中等部1学年だより

鎌倉に行ってきました

3月11日(金)の東日本大震災の影響で、4月6日(水)～8日(金)に予定されていたオリエンテーション合宿が中止になりました。合宿中に行われる講話等は学内で実施されましたが、遠足的な要素を体験するべく、場所を静岡岡から鎌倉に移して、6月14日(火)に古寺巡礼、江ノ電乗車、鎌倉海浜公園、由比ヶ浜のビーチ等々、初夏の1日を楽しみました。

鎌倉を訪ねて

小野 将寛

1年A組 お茶の水女子大学附属小学校出身

僕は建長寺に行きました。家族で鎌倉に行ったことがあるようですが、あまり覚えていません。建長寺は、鎌倉時代に建立された我が国最古の禅寺です。このお寺を見て僕が感じたことを話します。最初に建物のバランスの良さにびっくりしました。今から約800年も前の鎌倉時代にどうやってこのお寺を建てる技術があったのかな、と不思議に思いました。それからこんなに巨大な建物を作るのに、いったいどれだけの人が動員され、どこから材料を持ってきて、どうやって運んだのかと考えてしまいました。それにしてもいまだに昔のままに残っています。仏像を見ていると、小さなことによくよしていることがマイナス面となり、もっとおおらかな気持ちで生活をしないとプラスにならないと、僕に語りかけているような気がしました。お寺のような古い建物や仏像を見ると、不思議と心が落ち着きます。

これからもさまざまな建物を見て、タイムスリップして歴史を考えたいと思います。

鎌倉での一日

富永 悠記子

1年B組 品川区立立会小学校出身

私がいちばん楽しかったことは、ビーチに行って皆と遊んだことです。その理由には、もちろん、B組だけでなくA組の友達とも一緒に遊べたということもありますが、それ以上に、自分自身のすごく幼かった頃の思い出をもう一度体験することができたからです。

今振り返ってみると、私は最近自然と触れ合っ遊ぶという機会が減っていると思います。そのことは今日の社会の人間関係につながっているとも思います。自然と触れ合うことによって、自然のようにおおらかな気持ちを持てるようになることが、今必要だと思います。これからは、いっそうこのような気持ちになるためにも、友達同士や家族などと、たまには自然と一体になれるような機会を作っていきたいと思います。

自然にあまり目を向けようとしなかったこれまでの日々が、どれほど窮屈だったかということに改めて気がつきました。



建長寺にて



鶴岡八幡宮へ向けて



江ノ電を降車して



A組の集合写真



B組の集合写真



由比ヶ浜で水遊び

中等部2学年だより

☆English Summer Camp☆

8月27日(土)から29日(月)の2泊3日で、群馬県にある東海大学嬭恋高原研修センターでEnglish Summer Campが行われました。「AC(American Counselor)」と呼ばれる外国人の大学生たちと24時間寝食を共にし、言葉だけでなく、海外の文化を学ぶというプログラムです。行く前は不安を抱えていた生徒たちもさまざまな活動を通して、「もっと英語が話せるようになりたい」という思いを持って帰ってきたようです。

楽しかったキャンプ

松村 拓

2年A組 私立清泉小学校出身

僕はこの3日間のサマーキャンプで、英語を喋れるようになりたいと思いました。こんな風に思ったのは初めてでした。

はっきり言って、僕は英語が苦手です。サマーキャンプでもACの人に何か聞かれても、返答にかなり時間がかかってしまうことが何回もありました。しかし、ACの人の同士が英語で会話しているところを見ると、自分もいつかあんな風に話せるようになりたいと思いました。それと同時にアメリカは楽しそうな国だなあと思いました。ダンスパーティーやキャンプファイヤーでは、ACの人たちが僕たちを盛り上げてくださり、とても楽しむことができました。ダンスは照れもありましたが、ACの人たちを見ると楽しそうであらましくなり、これからは自分を解放して明るくなりたいと思いました。

それにしても、震災の後で未だ生活に困っている人々がいる一方で、僕たちは豊かな自然の中で楽しく学べることに感謝しなくてはならないと思いました。とても充実した3日間でした。

イングリッシュ・サマー・キャンプを終えて

遠藤 岳

2年B組 品川区立伊藤学園小学校出身

僕は最初、イングリッシュ・サマー・キャンプはつまらないだろうと思っていました。しかし、とても楽しく過ごすことができました。その中でも2つ印象に残ったことがあります。

1つ目は、1日目の夜のダンスパーティーです。

ACの人たちが踊っているのを見ていたら、つられて自分も踊っていました。リンボーダンスをしたり、舞台の上で踊ったりしてとても楽しかったです。しかし、着ていた体育着はピチピチになって、大変でした。

2つ目は、マイストーリーです。これはACにアドバイスをもらいながら、自己紹介の英文を考え、それをスピーチするものです。まず英文をすべて書き終わるまでに1時間くらいかかってしまいました。しかも今度はその英文を覚えるのが大変で結構がんばりました。その甲斐あってか数人しか選ばれない代表となり、壇上が上がって全員の前でスピーチすることになりました。上位3位にはなれなかったけれど、良い経験をすることができました。いろいろありましたが、とても良い3日間でした。



英語で班紹介



ペイントしてもらいました☆



バスの車内で



暗闇の中でダンスパーティー



アメリカの遊びを教わりました



キャンプファイヤーでマシュマロを焼いたよ

中等部3学年だより

夏休みの思い出

夏休みに学んだこと

梅畑 洸之介

3年A組 大田区立馬込第二小学校出身

僕は、今年の夏休みにタイとシンガポールへ行き、異文化に触れる貴重な体験をしてきました。両方の国の人々は、僕たちのような外国人とは英語でコミュニケーションを取ります。これまでの2年間の授業や英語の行事で学んだ単語や表現を使ったり、身ぶり手ぶりで何とか自分の言いたいことを表現してみました。最初は「通じなかったらどうしよう」という気持ちからなかなか上手いきませんでした。でも、英語がつかなくても一生懸命伝えることの大切さを実感しました。

この体験をもとに、この後の半年で英語の授業でもっと多くの表現が言えるように頑張ろうと思ったと同時に、2月に控えたニュージーランド研修に向けて、外国人の先生とも勇気を出してコミュニケーションするように努力したいです。

部活動にはげんだ夏!!

千葉 琴美

3年B組 荒川区立第五峡田小学校出身

私はこの夏休み、大きな目標をもって過ごしました。目標は夏のコンクールで金賞をとって東京都代表になり、東日本大会への出場権を獲得することでした。去年は金賞を取ったものの、代表にはなれなくてとても悔しい思いをしました。今年は私にとって最後のコンクールだったので、絶対に目標を達成したいと思っていました。こんなに大きな夢のような目標を達成させることは、とても難しいことでした。コンクールまで休みもないし、合宿もきついし、部全体の雰囲気も下がってしまい大変なときもありました。しかし、コンクール前日まで諦めずに練習した結果、大きな目標を達成することができました。これから東日本大会に向けて、初心に戻り、挑戦者として新しい気持ちで頑張りたいです。目標が常にあった夏休みだったのでとても充実していました。夏休みの努力を無駄にしないで、これからも頑張っていきたいです。

高校の部活動に参加開始

本校では中等部での部活動引退後、引き続き3年の最後まで後輩の面倒を見る生徒や中高一貫校のメリットを生かして、一足先に高校への部活動に参加している生徒もいます。今回2人の生徒に、中等部での部活動引退後の様子を書いてもらいました。

高校の部活動に出て…

吉野 静

3年A組 新宿区立鶴巻小学校出身

私たち中等部女子バスケットボール部が創部以来目標としていた都大会に初出場してから、約2か月が経ちました。私たち中3は後輩たちが少しでも上手になるようにしばらくの間指導をしていました。あっという間に夏休みも終わり、私は高校の女子バスケットボール部への参加を始め、毎日先輩方と一緒に練習をしています。高校の練習は中等部とは一味違うバスケットが出来るので、今とてもワクワクしています。私の目標は中等部で身に付けた技術を生かし、今よりもっとまくなることです。先輩や顧問の先生方もとても熱心に教えて下さるので、自分ももっと頑張ろうという気持ちになります。平日は19時30分まで練習があって夜遅くて大変ですが、部活動と勉強を両立させて、これからも頑張っていきます。

新しいスタート

稲本 宏太

3年B組 中央区立日本橋小学校出身

僕は6月に部活動を引退して陸上部に入りました。初めて仮入部に参加したときは、高校の部活に入るのでも上手にできるか心配でした。もちろん知っている人は居なくて一からのスタートでした。でも自分以上に周りから声をかけてきてくれて楽しく部活動に取り組むことができました。やはり高校生と部活動をするので敬語だったり、いろいろ気をつかったりするので大変ですが、部活動が毎日楽しいのでなんとか乗り越えています。途中から入ったのでまだ知らない先輩もいますが、なるべく自分から話していきたいと思います。練習は辛いこともありますが、頑張って乗り越えて先輩に近い走りをしたいと思います。練習後にアドバイスをくれるので、そのアドバイスを頑張って1つひとつ自分のものにしていきたいです。まだまだ知識もなにも無いので、高校に入るまでにできる限りの知識や力をつけて高校に上がって、しっかりと練習についていけるように頑張ります。

高校1学年だより

今月は、前期を終えた高校1年生に向けて、米谷学年主任から、ひとことを頂きました。

捉え方

第1学年主任 米谷 昭人

先日、家族でちびまる子ちゃんの「藤木、幸運が欲しい」という話を見ていました。藤木君は、様々な事柄をすべてマイナスに捉えて不運だと嘆いているのです。しかしそこに、山田君が登場して藤木君よりも不運なことが起きても「あははは」と笑って幸運だと捉えていたのです。と

でもプラス思考です。その行動を見て藤木君は、自分の考え方の過ちに気が付くという話でした。同じような事柄であっても自分自身の捉え方で、幸運と感じるか不運と感じるかわ変わってきます。皆さんは藤木君の捉え方と山田君の捉え方とどちらと似ていますか？

10月8・9日で建学祭がおこなわれます。1学年の各クラスでの建学祭の出し物を紹介します。ぜひ建学祭にお越しください!!

1組

私たち1年1組は、高輪台での生活をモチーフにした「すごろく」をやります。目標は、来てくれた人たちに、私たちがどのような高校生活を送っているのかを知ってもらい、さらに、それをゲーム感覚で楽しんでもらうことです。皆さん、ぜひ来てください。

2組

私たち1年2組は「〇〇さんの一生」という題名の人生を行います。途中に出てくるイベントでは、ゲームが用意されています。さてあなたはどんな一生を送ることになるでしょう!? 参加してくれた人には景品を差し上げます。

3組

私たち1年3組は、御当地アイスのパッケージを貼るなど、アイスに関する情報を調べ、展示します。あと、バニラアイスには何を入れたらおいしくできるのかを検証し、結果をまとめて展示します。

4組

私たち1年4組は「モグラたたき」ゲームを行います。いろいろな穴から突然飛び出すモグラを探し出します。反射神経を鍛えたい方にはお勧めです。ぜひ遊びに来てください。

5組

私たち1年5組は「益でいいとも」という展示を行います。クラスのメンバー全員が、「益田でいいや」という悟りの境地に達した様子を、おもしろく表現しようと意気込んでいます。どうなることやら。楽しみにしてね。

6組

1年6組の出し物は「迷路」です。シンプルな出し物ですが、私たちが考えたさまざまな仕掛けが皆さんの行く手を阻みます。皆さんはこの「迷路」から抜け出せますか？

7組

団体名は「キムド」です。担任が金先生で、ドーナツを売るということでこの名前になりました。7組はパワフルなクラスなので、いつも通りの明るい雰囲気です。みんなで一体となってドーナツを売ります! よろしくお祈りします!

8組

8組はアリーナで芸能発表を行います。東日本大震災から半年が経ちましたが、私たち高校生にも「みんなに元気を届ける」という形の復興支援ならできると思っています。うまく踊れるかわかりませんが、ぜひご覧ください。

9組

9組は女子の意見が通り、風船を使ったバルーンアートを行います! 詳しくはまだ秘密ですが、私たちと一緒にバルーンアートを楽しみませんか? ぜひPoo船へいらしてください。お待ちしております。

高校2学年だより

夏休みの活動(世界選手権・オープンキャンパス)

皆さんはどのような夏休みを過ごしましたか？ 高校2年生では、世界で戦ってきた生徒が2人います。柔道部の八幡君とヨット部の村山さんです。村山さんは9月号に掲載されていますので、今回は八幡君に感想を聞いてみました。多くの生徒は、進路について考えた夏休みだったようです。オープンキャンパスに参加した生徒もたくさんいました。

世界選手権に出場して 八幡 憲治

2年7組 江東区立第三亀戸中学校出身

8月23日から28日までの6日間、フランスのパリにあるベルシー体育館で世界柔道選手権が開催されました。私はフィリピン代表として参加し、大会5日目の27日が試合日でした。それまでは身体の調整を図ったり、あらゆる階級の試合を見学したりしました。その中で一番難しいと感じたのは組手です。組手によって試合が決まるだろうと思い、集中しながら試合に臨みました。しかし世界の壁は厚く、大変悔しい負け方をしてしまいました。自分にとって納得のいく試合ができなかったことが一番悔しかったです。それと同時に、もっともっと練習を重ねていかなければならないと実感しました。

今回の試合で一番印象に残った選手は、フランスのリネール選手です。力と技の切れが良く、全試合一本勝ちという素晴らしい試合を見せてくれました。

今後もあらゆる国際大会に出場していきますが、上位に入ることができるよう更なる練習をし、世界で活躍できるような選手になるよう頑張っていきたいと思います。



海洋学部体験入学 森本 優希

2年3組 大田区立大森第三中学校出身

私は8月26日から1泊2日で海洋学部の体験入学に参加してきました。全国の付属高校から来た人と一緒に、海洋学部らしいさまざまな体験をしました。特に、私の印象に残っているのは、魚の解剖、交流夕食会、そして望星丸の見学の3つです。魚の解剖では、駿河湾の深海に生息する「ミズウオ」という深海魚を使い、海洋汚染について学びました。夕食会は、一番楽しかった思い出です。海洋学部が持っている水族館「海洋博物館」の大水槽の前でバイキングという、海洋学部だからできるとも贅沢な夕食会だったからです。付属高校の卒業生の先輩たちとの交流もでき、大学生活についていろいろと話を聞けたのも貴重な体験でした。そして望星丸の見学では、操縦室など普段は入れない部屋も含め、艦内の隅々まで見学することができました。今回の体験を通して、海洋学部でしか味わえない楽しみがあると感じました。楽しく海について学べる海洋学部は魅力的でした。



阿蘇での2泊3日 有賀 司

2年4組 中央区立銀座中学校出身

私は8月3日から行われた阿蘇オープンキャンパスに参加しました。農学部には入学当初から興味を持っていて、今回の体験授業で進学するかを決める覚悟で臨みました。当日は、牧場実習やブルーベリーの収穫・ジャム作り、阿蘇山の火口見学などをしました。応用動物科学科に進学を考えている私にとって、牧場実習はとても良い体験でした。キャンパスのことだけでなく、阿蘇の地域のことも学ぶことができました。初めての体験ばかりでしたが、戸惑いながらも積極的に取り組むことができました。大学生と交流する機会も多く、大学生活のことや一人暮らしのことなど、現地の声を聞くことができよかったです。キャンパスの中も外も自然で溢れていて、農業を勉強するにはとても適している環境だと思いました。私は農学部に進学し、この阿蘇キャンパスで多くのことを学びたいと思います。

考えが変わったオープンキャンパス 竹村 望

2年1組 板橋区立赤塚第二中学校出身

僕は自分の夢がかなえられる学部が見つけれなかったため、進路先を決めかねていましたが、オープンキャンパスに参加して進路をかなり具体的に考えられるようになりました。文学部広報メディア学科の体験授業では、メディアに関するクイズと学科の説明を詳しくしてくれました。そこで学科内でラジオ番組の制作をしていることを知ったのです。僕が目指している職業では、ラジオパーソナリティーもしている人がたくさんいます。もしラジオ番組の制作を大学で経験できれば、情報を正確に伝えることも学べ、将来の夢へ向けての大きな前進となります。他の学科の授業も受けて、自分への向き不向きも知ることができ、自宅からの通学が可能であることもわかりました。これからは親と先生と進路の相談を続け、最終決定に向けて動いていきます。僕にとってオープンキャンパスは、進路決定に向けてとても大きな情報源となりました。

高校3学年だより

特別奨励内定者特集

「どんな人が特別奨励に内定しているのか？」
 その疑問に答えるべく、今年度の該当者の皆さんにアンケートを実施して、学習に対する取り組みと工夫を教えてくださいました。この結果の中から日頃の勉強のヒントをたくさん見つけてください。

(回答者数は46人。下記の単位のない数字は人数を表しています)

Q1.得意科目を1つだけ挙げると何ですか？

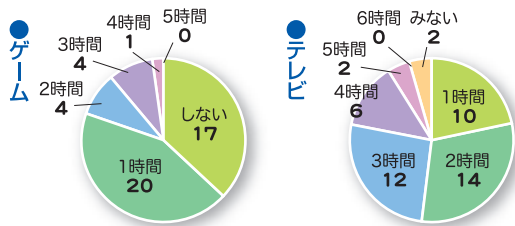
1位 数学(16) 2位 地歴公民(11) 3位 理科(6)

Q2.不得意科目を1つだけ挙げると何ですか？

1位 国語(14) 2位 理科・英語(11)

Q3.ゲームをするならば1日平均何時間しますか？

Q4.テレビは1日平均何時間みますか？



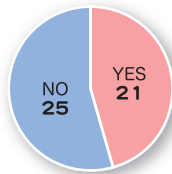
Q5.自由な時間は、どのように過ごしていますか？

読書／睡眠／映画鑑賞／走る／テレビを観る／ギターを弾く／運動／自転車ですぐに行く／友達と遊ぶ／インターネット／外出する／音楽鑑賞／なるべく体を休めている／家でゆっくり／犬の散歩／ショッピング／ギター／ゲーム／音楽を聴きながら復習する

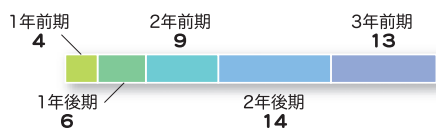
Q6.将来、就きたい職業は決まっていますか？

Yesの回答のなかから：

教員／航空機の開発／広告関係の仕事／薬系企業の研究開発者／IT関連の仕事／公務員／アナウンサー／雑誌記者／英語関係の仕事／航海士／保育士／食品技術者／テレビに関わる仕事



Q7.第1志望は、いつ頃に決めましたか？



Q8.何を励みに勉強していますか？

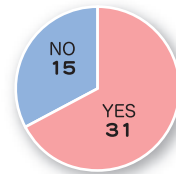
知的な好奇心／提出物／良い成績を維持すること／難しい問題を解くこと／終わった後の娯楽／おいしい物を食べたり、好きな音楽を聴くこと／友達／勉強する分テストで返って来ると思っています／将来

の夢／自分のため／良い成績をとるため／友達と遊ぶこと／休日を励みに／奨学金／家族／人生の充実／特奨に入ることを目指して頑張りました／大学に向けて／志望学部・学科に行くこと

Q9.部活動に入っていますか？

Yesの回答で：

運動部(25) 文化部(6)



Q10.部活動と学習の両立で工夫していることは何ですか？

授業についていく／だらだら勉強しない／部活動の後に疲れているなら少し寝てから勉強する／勉強のストレスを部活動で解消→部活動のストレスを睡眠で解消／通学時間も利用する／部活動は頑張る／学習はちゃんとノートをとる／後回しにせず、決めた範囲を時間がある時に勉強する／疲れた時にだらだら勉強を続けられないこと／朝早く起きて勉強／割り切って勉強する／頭の切り替え／短期集中で勉強する／計画的に過ごす／部活動と勉強のメリハリをつける／できるだけ1日1時間は勉強するようにしていた／時間を有効活用する／授業中に寝ない

Q11.定期試験の何週間前に勉強を始めますか？



Q12.先輩へのアドバイスを何でも

無理しないこと／25万ゲットしよう／頑張れば何でもできる／3年の基礎学は頑張れ！／ONとOFFをうまく使い分ける／1、2年の勉強をしっかりとった方がいい／目標を見つけると勉強しやすくなる／勉強は勢い／授業をまじめに受け、提出物をしっかりと出す／基礎学！／ノートはとろう／授業をまじめに受けていればテストで点数がとれるので頑張ってください／自分が一番勉強したいことは何かよく考えて後悔のないように進路を決めてください。部活動で忙しい人は必ず授業だけでもしっかりと聴いて内容を理解するようにしましょう／最後まであきらめない／テスト前にあわてて勉強するのではなく、ほんの少しずつでも毎日勉強するとその成果は必ず出ると思っています

SSH活動報告

8月11・12日、全国のSSH指定校が参加した「平成23年度生徒研究発表会」が神戸国際展示場でありました。本校から3年SSHクラスの中西君、内田さん、安孫子君がポスター発表をしました。

8月10日からの5日間、2年SSHクラスと普通クラスの希望者の生徒が「課題実験夏期集中授業」の活動を行いました。今年は都立科学技術高等学校の生徒も一緒に参加しました。物理・化学・生物・数学・環境の各コースに分かれ、前半の3日間は東海大学湘南校舎（数学は代々木校舎）で、大学の先生の指導のもと、高度な実習・実験を行いました。後半2日間は、実験してきたことをまとめ、発表会を行いました。難しい内容ながら、高校ではできない実験・実習を、生徒たちは積極的に取り組んでいました。

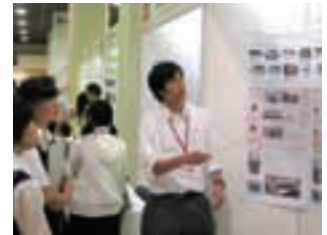
1年間の研究成果を発表して

中西 雄大

3年9組 川崎市立今井中学校出身

8月11・12日の2日間で、全国のSSH校が集う生徒研究発表会が神戸国際展示場で開かれました。例年はパシフィコ横浜で行われていたものですが、今年は震災影響により神戸で開かれることになりました。また、今年から海外からの参加校もあり、英語で発表をしていました。このような国際的な発表会に出られて、とてもうれしく思います。高輪台代表として私たち超伝導班がポスター発表を行いました。1日目は4時間、2日目は2時間の計6時間も発表をしました。6時間の発表はとても長かったです。とてもためになるものでした。他の高校の生徒や先生に発表を行うことで、良い意味でいい緊張感を持ちながら発表を行うことができ、とても勉強になりました。また、他の学校の発表を聞いて刺激を受けました。どの学校も個性的な実験を行っていて、各校とてもレベルの高い発表が多かったです。私たちが負けてはいられないと感じました。

今回の発表会には表彰がありましたが、残念ながら賞を取ることができませんでした。しかし、とても良い経験をすることができました。本当に素晴らしい2日間でした。



英語のポスターをつくりました

自然と触れ合った課題実験

長瀬 慶太郎

2年10組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

私は、環境①コースで金目川的环境について学びました。金目川というのは、東海大学の近くを流れている川で、上流、中流、下流と、川の特徴をしっかりと保っている川です。この金目川に、水生生物の調査に行きました。その時には、実際に金目川に入り水生生物を採取して、その生物たちの習性や特徴を観察しました。いつものように教室での座学とは違い、生物たちに直接触れ合うことができ、普段ではできない貴重な体験ができてよかったです。他には、金目川の水質をバックテストというものをを用いて調査を行いました。また、採取した水生生物たちを電子顕微鏡という機械を使い、細部まで観察し、似た形をした生物同士の違いについても学びました。5日間を通して、さまざまなことを学びました。最初は、環境を学ぶということなので、とても難しいことを学ぶのかと思不安でした。実際に授業が始まってみると、やはり内容は難しかったのですが、先生方やTAの先輩方に親切に教えていただき、楽しく学ぶことができました。



金目川にいる生物は・・・

有意義な経験

門倉 聖也

2年10組 品川区立富士見台中学校出身

課題実験夏期集中に参加しました。大学で学ぶ分野について触れ、自分たちが簡潔にまとめる能力を養うことを目的とした行事です。初めの3日間で各々が選択した興味のある分野について湘南校舎で学び、最後の1日で各グループが学んだ内容を発表しました。

私は物理を選択し、「LED製作に関しては、特に難しい内容ではなかったものの、焦点距離の測定実験は非常に難しかったです。レンズと焦点との距離を測る実験ですが、さまざまな難しい公式を使用したこの実験を完全に理解できたとは言いが難しかったです。とはいえ、大学の雰囲気や短時間でも味わい、将来どういった環境で学んでいくのかを体験することが目的であった自分には、非常に有意義な経験になったと思います。湘南校舎でお世話になった教授、大学院生の方々、そして、お忙しい中引率して下さった本校の先生方に感謝しています。



光は奥深くおもしろい

東海カルチャーセミナー

第6回「東海カルチャーセミナー」第1部は、昨年「全日本吹奏楽コンクール」全国大会で金賞に輝いた本校吹奏楽部が、マーチ「希望の光」をはじめ「薔薇戦争」より戦場にて、組曲「東海岸の風景画」より、「ラテンスペシャル21!!」まで、バラエティーに富んだ曲目で聴衆を魅了しました。第2部は数学者で東海大学教育開発研究所所長の秋山仁先生に「発想の転換で、不可能を可能に」というタイトルでご講演いただきました。教具を使った奇想天外な数学ショーやアコーディオン演奏と、秋山先生の多才なパフォーマンスを大いに楽しませていただきました。

東海カルチャーセミナーに参加して

後援会学年部部長 小川 正美

8月27日(土)東海カルチャーセミナーが開催され、今年も参加させていただきました。第1部は、本校吹奏楽部による演奏とパフォーマンスでした。昨年度全日本吹奏楽コンクールで金賞に輝いた演奏は素晴らしく、聞いている私の心にも部員の方々の熱い想いが伝わってきました。

第2部は、テレビ等でも人気の数学者で東海大学教育開発研究所所長の秋山仁先生による「発想の転換で、不可能を可能に」というテーマの講演を聴かせていただきました。

講演は、2部構成になっていて、第1部では保護者対象に真の教育とは何か？ 学ぶことの大切さや素晴らしさに大変感銘を受けました。第2部では高校生を対象に簡単な実験を用いて数学の楽しさや興味もてるよう、ユーモアあふれるお話をさせていただきました。その上、最後に2曲も先生のアコーディオン演奏と歌を聴けて、本当に楽しい時間を過ごすことができました。

お忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。



吹奏楽部による演奏



講演をする秋山仁先生

TOKAI キャンパスメッセージ

ハードウェアとソフトウェアの両方を基礎から応用まで幅広く学べる「コンピュータ応用工学科」

情報理工学部コンピュータ応用工学科准教授 浅川 毅

現在、我々の身の回りのシステムや機器のほとんどのものにコンピュータが使われています。例えば、テレビのリモコン、携帯電話、ゲーム機、自動車、パソコン、ロボットなどもコンピュータ応用機器なのです。

コンピュータ応用工学科では、3つの分野を柱として、これらコンピュータ技術の基礎から応用まで幅広く学び実践的な力を身に付けていきます。ロボット分野では、産業用や今後発展が期待されている介護や福祉、アミューズメントに応用するロボット技術を研究します。研究テーマに「箸を持つ食事介助ロボット」や「救助ロボット」などがあります。乗り物分野では、自動車・バイク・鉄道などの乗り物とコンピュータの相互関連を研究します。例え

ば、自転車のスリップを抑えるためのコンピュータ制御の研究や、実際に自転車走行を体感できるサイクリングシミュレータの開発を行っています。知能情報システム分野では、コンピュータに関するハードウェアやソフトウェアを研究します。コンピュータシステムの開発やアプリケーションプログラムの開発を通して実用的なシステム開発技術を身に付けます。研究テーマには「マイコンシステムの開発」、「ソフト開発」、「筋電位の応用」などがあります。全員がコンピュータの基礎を学び、学年の進行に従って次第に専門性を高めていきます。

コンピュータ応用工学科では、入学時から専門性を目指すのもよし、入学後にじっくりと専門性を決めるのもよしです。

高輪台高校出身他学生諸君、そして学科教職員が皆さんを待っています。



お知らせ

後援会『けやき屋食堂・バザー』

ご来場をお待ちしております!!

後援会会長 大谷 謙太 学年部部长 小川 正美

10月8日(土)、9日(日)両日に開催されます第47回建学祭において、本年も後援会として、けやき屋食堂とバザーの参加を予定しております。

場所 ●けやき屋食堂/B2F 食堂 10:00～ ●バザー/B2F 物理実験室 10:00～(両日とも)

〈生徒会より〉 建学祭収益金を ユニセフへ

昨年の建学祭収益金で生徒会はユニセフに141,655円を寄付しました。ユニセフは貧困、紛争などの厳しい中で懸命に生きる子どもたちのためにこの募金を役立てます。日本ユニセフ協会から感謝状をいただきました。

行事予定

October 10月

November 11月

- 1日(土) 保護者会「家庭通知表」配布(中、高1～3年)
- 3日(月) 後期始業式[正制服着用] 短縮授業
- 4日(火) 中学校教員説明会
- 5日(水) 建学祭開祭式(7限目) 塾教員説明会
- 6日(木) 建学祭準備
- 7日(金) 建学祭準備
- 8日(土) 第47回建学祭
- 9日(日) 第47回建学祭
- 10日(月) 体育の日
- 11日(火) 建学祭閉祭式 短縮授業
- 12日(水) 中等部・高校合同体育祭予備日2 雨天時平常授業
- 13日(木) 学年集会(中3、高3)、保護者面談(高2、～11月18日)
- 15日(土) 英語検定(中2、中3)※中1、高校は希望者のみ、受験生:保護者学校説明見学会(高校、10:00) 校医相談日
- 18日(火) 東海大学進学説明会(高1、1限)、学年集会(中1) 教育実習(～11月11日)
- 23日(日) 受験生:保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 27日(木) 学年集会(高1)、マナー講座(中1)
- 29日(土) SSH成果報告会
- 31日(月) 木曜日の授業

- 1日(火) 学園建学69周年記念式典 湘南校舎 生徒自宅学習日
- 2日(水) 朝礼、建学記念式典[正制服着用] 短縮授業
- 3日(木) 文化の日
- 5日(土) スポーツ大会(高3、アリーナ)
- 10日(木) 生徒会立会演説会(1限目)
- 11日(金) 後援会湘南校舎見学研修会
- 12日(土) 保護者会(高1)、東海大学付属推薦者保護者会(高3)
- 13日(日) 英検二次試験、高校受験生:保護者学校説明見学会(10:00～)
- 15日(火) 一斉公開授業②、校医相談日
- 16日(水) 一斉公開授業②、専門医によるカウンセリング
- 17日(木) 学園高大連携総合試験(高3)、外部実力試験(中等部、高1、2)
- 19日(土) 中等部受験生:保護者学校説明見学会(10:00～)
- 23日(水) 勤労感謝の日
- 24日(木) 生徒による授業評価アンケート③
- 26日(土) 後援会委員総会
- 29日(火) 後期中間試験(中等部～31日)(高1、2～12月2日) 卒業試験(高3～12月2日)

9月の行事



避難訓練(9月1日)



教職員の救命講習(9月14日)



編集後記

9月11日、この日は奇しくもアメリカ同時多発テロ事件から10年目にあたると同時に、東日本大震災から半年目となる節目と重なった。2つの出来事は一見まったく無関係に見えるが、数千人単位の犠牲者を数え、いまだ癒えることない深い傷を人びとの心に残している点で共通する。しかし、それだけではない。人災と天災との違いこそあれ、人類の叡智をもってすれば、いずれも将来同様の犠牲者を最小限に食い止めることは可能である。9.11と3.11、この2つはともに歴史に刻まれる日となった。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>